

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 12, 事業名, 広域連携の実行支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部署, 商工会支援部, 担当課名, 北部支援センター, 担当課長名, 金平弘道, 施策コード, 6, 施策名, 商工会間の広域連携の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

地域内事業者及び会員の減少に加え、事業事務の効率化を図るため、同一事業の共同実施や、テーマ別の事業連携、小規模商工会の近隣商工会との組織連携など、地域を越えた商工会間の広域連携についての検討と実施が必要となっている。

2. 事業のねらい

ガイドラインによる具体的な連携手法やルールづくり、先行実施により得られた実践的なノウハウを活用して、連携計画の策定支援や事業実施における実行支援を行う。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, B, R2

近隣商工会との講習会の共同開催など、既存事業の連携は自主的に実施され、概ね順調であった。しかし、業務(組織)連携については、連携テーマの絞り込みが出来ず、連携提案実施に至らなかった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

ガイドラインによる具体的な連携手法や、これまでの実施により得られたノウハウを活用し、実行支援につなげる。

【取組評価】

Table with 8 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 25 (広域連携の実行支援) and 26 (広域連携の推進).

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 18 columns: 取組コード, 26, 取組コード, 26, 取組コード, 指標名, 広域連携事業提案件数(うち実現件数), 指標名, 組織運営に関する広域連携提案件数(うち実現件数), 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈評価の理由〉

商工会の業務効率化と効果的な事業実施のために、具体的な連携提案に基づいた実行支援は必要である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) c

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

セミナー等の実施商工会をリストアップした上で共同開催支援を行うことができた。しかし、昨年度から懸案であった業務(組織)連携の実現件数の目標達成には至らなかった。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

国の専門家派遣事業等を活用し、事業を行ったことで効率的な実行支援ができた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

広域連携事業を実施する際、専門家派遣事業等を活用し、幹事商工会への実行支援を行うなど、事業事務の効率化につなげた。

3. 課題

セミナー開催等の事業連携は実現できているが、広域連携ガイドラインを活用した業務(組織)連携は実現できていない。業務(組織)連携は、商工会の実情に即した具体的な方向性とメリットの提示が必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

研修会等の事業連携における支援を継続するほか、具体的な連携計画を示すなど、商工会同士の連携を円滑に進めるための実行支援を行う。